



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名 京極運輸商事株式会社

上場取引所

東・名

コード番号 9073

URL <http://www.kyogoku.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北山 剛規

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役

(氏名) 立岩 敦

TEL 03-5825-7143

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,251	8.4	57	24.5	87	4.8	57	△0.0
2025年3月期第1四半期	2,077	1.4	46	209.4	83	90.8	57	111.9

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 14百万円(△97.0%) 2025年3月期第1四半期 467百万円(204.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	19.95	—
2025年3月期第1四半期	19.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	8,240	4,226	51.0	1,462.46
2025年3月期	8,169	4,241	51.7	1,467.82

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 4,204百万円 2025年3月期 4,220百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,470	8.1	75	186.8	103	49.0	71	47.4	24.70
通期	8,828	4.8	122	621.1	175	68.5	120	15.6	41.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	3,200,000株	2025年3月期	3,200,000株
2026年3月期1Q	325,299株	2025年3月期	325,299株
2026年3月期1Q	2,874,701株	2025年3月期1Q	2,964,727株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全体的に「減速基調」となり、内需・外需ともに力強さを欠く足踏み状態が続きました。また、企業の設備投資は緩やかな回復傾向が見られるものの、物価上昇が続く中で実質賃金が減少し、個人消費は停滞感が強まりました。全体として、経済は緩やかな回復の動きが見られるものの、米国の関税政策の影響もあり、先行きの不透明感が増しております

物流業界におきましては、中国経済不振等による当社の主力である化学品輸送の需要減が継続しており、また、ドライバー不足という構造課題に変化は見られず、引き続き厳しい経営環境下にあります。

このような状況下、当社グループでは、国内輸送事業における輸送数量の減少、国際物流事業における取扱数量の減少は継続しているものの、国内輸送事業を中心とした価格改定に加え、ドラム缶・ペール缶事業における更生缶販売が好調であり、タンク洗浄事業の受注が順調に推移していることから、売上高は2,251百万円と前年同四半期に比べ174百万円(8.4%)の増収となりました。

損益面につきましても、営業利益は57百万円と前年同四半期と比べ11百万円(24.5%)の増益、経常利益は87百万円と前年同四半期と比べ4百万円(4.8%)の増益となりました。しかし、増益に伴う法人税等の増加により、親会社株主に帰属する四半期純利益は57百万円と前年同四半期と比べ0百万円(△0.0%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(イ) 国内輸送事業

2024年問題へ対応するための適正運賃収受の交渉成果により売上高は増加したものの、ドライバー確保の為に賃金改定や車両修繕費の増加もあり、増収・減益となりました。結果として、売上高は982百万円と前年同四半期と比べ44百万円(4.7%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は83百万円と前年同四半期と比べ17百万円(△17.1%)の減益となりました。

(ロ) 国際物流事業

トランプ関税による情勢不安により、米中に関わる輸出入の荷動きが低迷したことにより、減収・減益となりました。結果として、売上高は151百万円と前年同四半期と比べ5百万円(△3.0%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は29百万円と前年同四半期と比べ3百万円(△8.5%)の減益となりました。

(ハ) ドラム缶・ペール缶事業

ドラム缶販売部門においては、産廃用・化学品用の更生缶販売が好調であり、事業全体で増収・増益となりました。結果として、売上高は651百万円と前年同四半期と比べ65百万円(11.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は28百万円と前年同四半期と比べ7百万円(30.8%)の増益となりました。

(ニ) エネルギー事業

石油販売においては、取扱数量が減少したものの、販売平均単価の上昇により、減収・増益となりました。結果として、売上高は257百万円と前年同四半期と比べ18百万円(△6.4%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は2百万円と前年同四半期と比べ1百万円(161.4%)の増益となりました。

(ホ) タンク洗浄事業

工事受注件数並びに工事の進捗も順調に推移しており、増収・増益となりました。結果として、売上高は210百万円と前年同四半期と比べ88百万円(72.2%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は30百万円と前年同四半期と比べ20百万円(210.6%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ71百万円増加し、8,240百万円となりました。これは、建設仮勘定や投資有価証券が減少したものの、現金及び預金、建物及び構築物の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、4,013百万円となりました。これは、賞与引当金の減少はあったものの、未払費用の増加によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、4,226百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表した業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	880,727	954,133
受取手形、売掛金及び契約資産	1,384,214	1,402,911
リース投資資産	564	282
商品	10,145	11,014
原材料及び貯蔵品	22,587	20,349
半成工事	7,720	2,451
その他	226,255	247,699
流動資産合計	2,532,212	2,638,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,419,478	3,547,611
減価償却累計額	△2,774,237	△2,785,211
建物及び構築物(純額)	645,241	762,400
機械及び装置	408,765	409,353
減価償却累計額	△354,250	△356,011
機械及び装置(純額)	54,515	53,342
車両運搬具	2,937,760	2,901,296
減価償却累計額	△2,638,691	△2,621,440
車両運搬具(純額)	299,069	279,855
土地	1,588,549	1,588,549
リース資産	1,220,194	1,268,446
減価償却累計額	△298,857	△335,544
リース資産(純額)	921,337	932,901
建設仮勘定	107,265	16,830
その他	116,885	117,725
減価償却累計額	△95,881	△96,270
その他(純額)	21,004	21,455
有形固定資産合計	3,636,980	3,655,332
無形固定資産		
ソフトウェア	20,678	16,401
その他	6,765	7,124
無形固定資産合計	27,443	23,525
投資その他の資産		
投資有価証券	1,797,449	1,742,615
繰延税金資産	4,509	7,462
その他	170,550	171,950
投資その他の資産合計	1,972,508	1,922,028
固定資産合計	5,636,931	5,600,885
資産合計	8,169,143	8,239,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	745,906	763,735
短期借入金	839,590	833,050
リース債務	227,532	234,876
未払費用	207,657	370,022
未払法人税等	15,810	22,405
賞与引当金	145,694	50,404
その他	109,990	117,339
流動負債合計	2,292,179	2,391,831
固定負債		
長期借入金	5,500	4,000
リース債務	788,220	794,813
退職給付に係る負債	675,967	668,403
資産除去債務	52,943	53,059
繰延税金負債	97,722	86,782
その他	15,267	14,534
固定負債合計	1,635,619	1,621,590
負債合計	3,927,798	4,013,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	114,995	114,995
利益剰余金	3,455,668	3,484,270
自己株式	△186,438	△186,438
株主資本合計	3,434,225	3,462,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	788,247	746,667
退職給付に係る調整累計額	△2,918	△5,364
その他の包括利益累計額合計	785,329	741,303
非支配株主持分	21,791	22,174
純資産合計	4,241,345	4,226,303
負債純資産合計	8,169,143	8,239,725

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	2,076,581	2,250,996
売上原価	1,866,841	2,042,595
売上総利益	209,740	208,401
販売費及び一般管理費		
販売費	5,571	5,595
一般管理費	158,285	145,665
販売費及び一般管理費合計	163,856	151,260
営業利益	45,884	57,142
営業外収益		
受取利息	185	408
受取配当金	32,227	38,286
営業車両売却益	1,946	1,182
持分法による投資利益	1,960	—
補助金収入	2,922	12
軽油引取税交付金	955	678
その他	2,539	1,032
営業外収益合計	42,734	41,598
営業外費用		
支払利息	4,804	8,084
持分法による投資損失	—	2,524
支払手数料	436	500
その他	862	1,131
営業外費用合計	6,102	12,240
経常利益	82,516	86,500
税金等調整前四半期純利益	82,516	86,500
法人税等	24,964	28,524
四半期純利益	57,552	57,977
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	57,374	57,349
非支配株主に帰属する四半期純利益	178	628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	409,019	△27,921
退職給付に係る調整額	3,032	△2,446
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,127	△13,774
その他の包括利益合計	409,924	△44,141
四半期包括利益	467,476	13,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	467,135	13,323
非支配株主に係る四半期包括利益	341	513

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	国内輸送 事業	国際物流 事業	ドラム缶・ ペール缶 事業	エネルギー 事業	タンク洗浄 事業	
売上高						
貨物自動車運送	930,153	—	—	—	—	930,153
港湾運送及び通関	—	48,818	—	—	—	48,818
倉庫	—	106,807	—	—	—	106,807
ドラム缶販売	—	—	412,178	—	—	412,178
ドラム缶配送	—	—	174,055	—	—	174,055
石油販売	—	—	—	274,899	—	274,899
タンク洗浄	—	—	—	—	122,089	122,089
顧客との契約から生じる収益	930,153	155,625	586,233	274,899	122,089	2,068,999
その他の収益	7,582	—	—	—	—	7,582
外部顧客への売上高	937,735	155,625	586,233	274,899	122,089	2,076,581
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,296	30	—	54,804	—	58,130
計	941,031	155,655	586,233	329,703	122,089	2,134,711
セグメント利益	100,720	31,948	21,441	622	9,619	164,350

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	164,350
セグメント間取引消去	△67
全社費用(注)	△118,399
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	45,884

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	国内輸送 事業	国際物流 事業	ドラム缶・ ペール缶 事業	エネルギー 事業	タンク洗浄 事業	
売上高						
貨物自動車運送	975,043	—	—	—	—	975,043
港湾運送及び通関	—	43,840	—	—	—	43,840
倉庫	—	107,130	—	—	—	107,130
ドラム缶販売	—	—	468,964	—	—	468,964
ドラム缶配送	—	—	181,833	—	—	181,833
石油販売	—	—	—	257,399	—	257,399
タンク洗浄	—	—	—	—	210,210	210,210
顧客との契約から生じる収益	975,043	150,970	650,797	257,399	210,210	2,244,419
その他の収益	6,577	—	—	—	—	6,577
外部顧客への売上高	981,620	150,970	650,797	257,399	210,210	2,250,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,784	1,530	—	54,200	—	57,514
計	983,404	152,500	650,797	311,600	210,210	2,308,510
セグメント利益	83,479	29,221	28,036	1,626	29,877	172,239

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,239
セグメント間取引消去	△39
全社費用(注)	△115,058
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	57,142

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	85,554千円	90,051千円